

日本の地理（概要）

気候

北海道（亜寒帯）や沖縄県（亜熱帯）などを除き、国土の大部分が温帶（温
暖湿潤気候）に属する。季節風（モンスーン）の影響で、年間の気温差が大
きく、季節の変化がはつきりしている（『四季』）。夏は、高温多湿で降雨
量が多く、台風の影響を受ける。冬は、寒冷で乾燥し、降雪が見られる。特
に、本州の日本海側は、世界でも有数の積雪地帯となっている。

地質

日本は世界で有数の地震大国であるといわれる。日本の国土面積は、世界の
約0.25%に過ぎないが、有感地震（人間が感じる地震）は、年間約1000～
1500回以上で*、世界中で発生するマグニチュード6以上の地震の約2割が
日本で発生している**。また、世界の活火山の約7%が存在する**など、世
界で有数の火山大国でもある。火山が多いため、火山性の温泉が多く、温泉
地数は3,133、源泉数は28,033である***。

*日本地震学会ウェブサイトによる

**平成22年版『防災白書』（オンライン版）による

***環境省自然環境局ウェブサイトによる

時間

台湾（UTC+8）とは1時間の時差がある（UTC+9）。例えば、日本が12
時のとき、台湾では11時である。

地形

日本は6,852*の島嶼で構成される島国である。このうち、面積の大きい本州、
北海道、九州、四国、沖縄本島の5島を「本土」と呼ぶ（ただし、沖縄本島
を除く場合もある）。一方、本土の5島を除く6,847島を「離島」（または
「島」）と呼ぶ。離島のうち、有人離島（住民基本台帳で人口が確認された
離島）は421島で、残りの6,426島は無人島である（北方領土178島を含む）**。
*海上保安庁水路部の調査による
**国土交通省都市・地域整備局離島振興課による

位置

ユーラシア大陸(Eurasia)から日本海を挟んで東側にあり、アジアの東端に位
置する。北海道、本州、四国、九州が北東から南西に弓なり（弧状）に連な
っていることから、これらの4島をあわせて「日本列島」と呼ぶ。日本には
多くの離島があり、その範囲は東西で約3100km、南北で約3000kmである。

面積

日本の面積は、377,940.78km²（世界第61位）で、台湾（36,189.51km²）の
約10倍の広さである。なお、台湾は九州（36,748.41km²）とほぼ同じ面積で
ある。日本の国土の約3分の2は、山岳や森林地帯で、居住可能な面積は約
13万km²である。

人口

日本の人口は、1億2742万6778人（2010年3月現在）で、台湾（23,119,
722人：2009年12月現在）の約5.5倍である（世界第10位）。人口密度は、
336人/km²で、先進国の中でもかなり高い（日本を除く主要先進国の平均の
約3倍：人口一千万人以上の国で世界第9位）。なお、台湾の人口密度は
639人/km²で、人口一千万人以上では世界第2位である。